

「あいちの教育ビジョン2020」に基づく主な取組状況

基本的な取組の方向1

個に応じたきめ細かな教育を充実させ、一人一人の個性や可能性を伸ばします

項目	方向性・取組状況
個に応じたきめ細かな指導の充実	○国の教職員定数改善を踏まえた少人数教育の推進 ・少人数学級の継続実施 [法制度化された小学1年のほか、小学2年、中学1年の県独自35人編制] ・全国学力・学習状況調査の結果分析、学力向上のための取組
多様な学びを保障する学校・仕組みづくり	○総合学科のさらなる設置、普通科コースの新設等 (平成30年度) ・総合学科の新設 [緑丘商業高校商業科⇒緑丘高校] ・学科の新設 [佐屋、松平 (生活情報科⇒ライフコーディネート科)] ・普通科コースの新設 [安城東：国際理解、半田東・豊橋南：教育、長久手：医療・看護、武豊：子ども発達、福江：観光ビジネス、名古屋西：創造表現] (平成31年度) ・新城有教館高校の開校 [総合学科、新城高と新城東高の統合] ・職業学科の学科改編 [小牧工業(航空産業科)、名南工業(エネルギーシステム科、エネルギー化学科)] ○「県立高等学校教育推進実施計画(第2期)」の策定に着手 ・平成31年度策定予定：計画期間 平成32～36年度(5年間)
特別支援教育の充実	○特別支援学校の教室不足解消に向けた新設校の整備 ・大府もちのき特別支援学校(知的障害)の開校 [平成30年度開校] ・新設特別支援学校の開校準備 [瀬戸つばき(知的：平成31年度開校予定)、西三河南部地区(知肢併置：平成34年度開校予定)] ○小中学校への通級指導担当教員の配置 [264人] ○「第2期愛知県特別支援教育推進計画」の策定 [平成30年12月策定予定：計画期間 平成31～35年度(5年間)]
理数教育の推進	○研究指定校などにおけるSTEM教育の先進的取組の普及 ・あいちSTEM教育推進事業の実施 [教育課程の研究開発(県立高校5校)、STEM教育魅力発信事業の実施等]
日本語指導が必要な子どもたちへの支援の充実	○日本語指導に関わる教員配置の充実と資質向上 ・小中学校への日本語教育適応学級担当教員の配置 [433人] ・教育事務所への語学相談員の配置 [11人] ・県立高校への外国人生徒教育支援員の派遣 [34校] ・『日本語学習支援基金』による日本語教室や外国人学校への支援
貧困状態にある子どもたちへの支援の充実	○スクールソーシャルワーカーの充実 ○中学生等を対象とした『地域未来塾』による学習支援 ○高校中退者等を対象とした『若者・外国人未来応援事業』による学習支援

基本的な取組の方向2

人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、道徳性・社会性を育みます

項目	方向性・取組状況
道徳教育の充実、人権教育の推進	○体験活動・地域貢献活動の実践による自己肯定感の育成 ・『特別の教科 道徳』の実施のための研修会の開催 [全面実施 小学校：平成30年度、中学校：平成31年度] ・道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」による情報発信 ・実践指定校による道徳教育の実践 [高校8校、特別支援学校2校] ・人権教育研究指定校による実践的な研究の実施 [小：2校、中：1校] ・教職員を対象とした人権教育に関する研修の実施 ・PTA関係者等を対象とした研修会の開催
いじめ・不登校等への対応の充実	○いじめの未然防止・早期発見・早期対応に向けた取組の推進 ○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの人材確保と資質の向上 ・スクールカウンセラーの配置 [小学校174人、中学校262人、小中連携校44人、高校54人、スーパーバイザー5人(小中3人、高校2人)] ・スクールソーシャルワーカーの配置 [高校7人]・設置補助 [18市町] ・児童生徒支援対応教員の配置 [161人] ・家庭教育相談員、ホームフレンド(大学生)による相談支援 ・24時間いじめ電話相談(子どもSOSほっとライン24)の実施 ・ネットパトロールの実施 ・『学校いじめ防止基本方針』に基づく校内指導体制の充実
主権者教育の推進	○主権者教育における教員の指導力の向上 ・県立高校における指導事例集の作成、配布 ・関係機関と連携した労働問題等に関する出前授業の活用

基本的な取組の方向3

健やかな体と心を育む教育を充実させ、たくましく生きる力を育みます

項目	方向性・取組状況
幼児教育の充実	○質の高い幼児教育の実現に向けた研修の充実 ・生涯にわたる学びを支える幼児教育の研究結果の普及 ・新幼稚園教育要領(平成30年度～)を踏まえた小学校教育との連携の推進
健康教育・食育の推進	○心身の健康づくりの充実、学校における食育の充実 ・自殺予防教育の推進に向けた研修会の開催 [教員等約600人] ・自殺予防啓発リーフレットの配布 [公立中学校、県立学校等の生徒全員、保護者、教職員] ・栄養教諭の配置拡大 [小学校165人、中学校70人、特別支援学校22人] ・食に関する指導充実のための実践的な講座の開催 [教員等約600人]

項目	方向性・取組状況
学校体育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○『体力向上運動プログラム』の普及啓発 ○より効果的で持続可能な運動部活動指導の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・全国高等学校総合体育大会の開催（夏季大会〔平成30年7月～8月〕、冬季大会（フィギュアスケート）〔平成31年1月〕） ・『部活動指導ガイドライン』の策定〔平成30年9月策定予定〕 ・小・中学校向け『体力向上運動プログラム』の普及啓発
安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に関する人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学と連携した高校生防災セミナーの開催 ・防災教育マニュアルの活用の啓発

基本的な取組の方向4

未来への学びを充実させ、あいちを担う人材を育成します

項目	方向性・取組状況
社会人・職業人としての自立に向けたキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育コーディネーターによる高等学校普通科のキャリア教育の充実 ○特別支援学校への就労アドバイザーの配置による就職率の向上 <ul style="list-style-type: none"> <小・中学校> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組む体験的活動の実施 ・全公立中学校（名古屋市を除く）における職場体験の実施 <高校> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知総合工科高校専攻科の公設民営〔学校法人名城大学〕 ・全普通科高校でのキャリア教育に関する授業の実施〔3年間で35時間以上〕 ・キャリア教育コーディネーターの活用〔4人〕 ・産業教育設備の整備・充実 <特別支援学校> <ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上を目指した就労アドバイザーの活用〔2人〕
グローバル化への対応の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパーイングリッシュハブスクールの取組の成果の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーイングリッシュハブスクール事業における拠点校の拡充〔13校〕 ・オールイングリッシュによる「イングリッシュキャンプ in あいち」（3泊4日）及び日帰りバスツアー（年4回）の実施 ・高校生の海外短期留学への支援 ・高校生を対象とした国際大会ボランティア養成講座の開催
環境教育・ESDの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な社会の形成に向けたユネスコスクールの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコスクール（ESD活動の推進拠点）の活動支援〔平成29年10月末現在：167校（申請中を含む。全国第1位）〕

項目	方向性・取組状況
オリンピック・パラリンピック教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○東京オリンピック・パラリンピック強化指定選手の競技力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・本県ゆかりの日本代表レベルにある選手の強化・次世代選手の育成支援 ・愛知県オリンピック・パラリンピック教育推進校の指定と実践（18校） ・トップアスリートを活用した子どもの運動・スポーツに親しむ取組
伝統文化・文化財の継承と新たな文化の創造	<ul style="list-style-type: none"> ○愛知の山車文化、朝日遺跡などの文化財の魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ・清洲貝殻山貝塚資料館の拡充整備（平成32年秋頃開館予定） ・あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力発信 ・杉原千畝顕彰施設の整備〔瑞陵高校校地〕（平成30年10月完成予定）

基本的な取組の方向5

学びがいのある魅力的な教育環境づくりを進めます

項目	方向性・取組状況
教員の養成・採用・研修の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○教員育成に関する『指標』を踏まえた体系的な研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・『愛知県教員育成指標』を踏まえた『教員研修計画』の再構築 ・県総合教育センターを中心とした研修体制の整備 ・教員採用選考試験における多様な特別選考の推進
開かれた学校づくりと多忙化解消への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○教員の多忙化解消に向けた取組の推進 ○異なる学校種間・設置者間の連携 ○地域による学校への支援体制づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・『教員の多忙化解消プラン』に基づく取組の推進〔部活動指導員の配置（県立高校12校）・市町村への配置補助、出退勤時刻記録の電子化（県立学校5校）等〕 ・東三河地域における小中高特連携教育の充実・発展 ・地域と学校との連携による『地域学校協働活動』の推進
県立学校の施設・設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○『県立学校施設長寿命化計画』の策定、魅力ある県立学校づくり <ul style="list-style-type: none"> <老朽化対策> <ul style="list-style-type: none"> ・「県立学校施設長寿命化計画」の策定、設計〔設計：32棟〕〔平成31年3月策定予定：計画期間 平成31年度～41年度（11年間）〕 ・校舎等大規模改造工事の実施（～H31）〔工事：12棟、設計：10棟〕 <耐震対策> <ul style="list-style-type: none"> ・武道場等吊り天井耐震対策の実施（～H34）〔工事：28棟、設計：27棟〕 <特別支援学校の環境整備> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の設置 ・トイレの整備 ・防犯カメラ、パトライトの設置